



「生徒が主役」の学校

校長 山村 恵子

4月、新しい学校生活が始まりました。

新1年生のご入学、また新学年へのご進級おめでとうございます。

令和7年度は、1年生114名(3学級)、2年生123名(4学級)、3年生109名(3学級)、全346名でのスタートとなりました。

深沢中学校は「生徒が主役」の学校です。4月8日の入学式を経て、9日に行われた生徒会主催の「新入生歓迎会」「生徒会交流会」では、まさに2,3年生が中心となり行事を盛り上げていました。

「新入生歓迎会」で流された委員会・部活動説明動画は、どの動画もとてもクオリティが高く、視聴した1年生は、まだ見ぬ中学校生活をイメージすることができたことでしょう。「生徒会交流会」では、1,2,3年生が混ざった小グループをつくり、問題に答えながら校舎内をオリエンテーリング形式で巡るといった新たな取組を行いました。職員室前で「ここは職員室だから、入室するときにはノックをして…」など、2,3年生が1年生に丁寧に説明をしている姿は何とも微笑ましい風景でした。このような活動を進めていくことで、皆さんの学校生活はより豊かに、楽しくなるはずですよ。

今後予想される社会では、答えのない問題に直面し、それを解決していくことが求められます。教わったことを覚えていれば解決できる問題ばかりとは限りません。自ら考えて、判断して、解決する力が問われるのです。

「どうしたら3年間しかない中学校生活を充実したものにしていけるのか」を、考え、工夫し、進めていきましょう。「皆さんにはその力がある」と、9日の様子を見ていて私は実感しました。

これからの1年がとても楽しみです。

【保護者、地域の皆さま】

今年度も保護者の皆さま、地域の皆さまのお力添えをいただきながら、教職員一同力を合わせ、子どもたちのために力を尽くしていきたいと思っております。

本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

●令和7年度●

【深沢中学校が目指す学校像】

「生徒が主役」の学校

未来を拓き夢を育む学校

○重点目標1：「自ら学ぶ力、探究的な学びの育成」

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
- (2) ICT機器を効果的に活用した教育活動を展開し、発問の工夫や探究のプロセスを重視した「せたがや探究的な学び」を積極的に進める。
- (3) 言語活動を基盤とした「自分の考えを発信する学び」を積極的に取り入れる。

○重点目標2：「多様な個性を尊重し、認め合う心を育む教育の推進」

- (1) 日々の学校生活や行事を通して、生徒の自尊感情や認め合う力、よりよい人間関係をつくり上げる力を育てる。
- (2) いじめ防止、障害者やLGBTQに対する差別意識を解消する学習、道徳の授業や人権教育を通して、生徒自身が多様性や命の大切さを理解し、尊重する豊かな心を育む。
- (3) すべての子どもたちが自分らしく学ぶことができるインクルーシブ教育を推進する。

○重点目標3：「社会力(これからの社会を生き抜く力)を育む教育の推進」

- (1) 生徒の意欲を大切に学級活動や生徒会活動、学校行事、総合的な学習の時間、部活動などを意図的、計画的に行うことで、生徒の自治意識を高める教育を推進する。
- (2) 時間を守る、あいさつをする、他人に迷惑をかけないなど、基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成を図る。
- (3) 3年間を見通したキャリア学習を積極的に進める。「なぜ学ぶのか」「なぜ働くのか」「どんな大人になりたいのか」を3年間かけて探究するキャリア学習を展開する。
- (4) 外部の人材・物的資源を計画的かつ積極的に取り入れ、社会とのつながりを深める。
- (5) 心と体の健康づくり・地域と連携した活動を推進する。

入学式 誓いの言葉

新入生代表

あたたかな春の訪れと共に、私たち新入生114名は新しい制服に身を包み、桜咲く深緑の学び舎 深沢中学校の門をくぐりました。本日は私たちの新たな門出をこのような素晴らしい式でお祝いいただき、新入生一同心よりお礼申し上げます。そして、今日まで私たちを育ててくれた保護者の皆さまにも感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちは、6年間の小学校生活を終えて、今新たな第一歩を踏み出そうとしています。

これから始まる中学校生活、新しい出会いや中学校での初めての学校行事に胸が躍る一方で、大きな環境の変化や勉強と部活動の両立など少し不安もあり、思い悩むこともあるかもしれません。そんな時は、先生方、上級生の皆さんから時に厳しく時に優しくご指導いただきたいと思います。そして仲間と共に支え合いながら一歩ずつ前に進んでいきます。一度きりの中学校生活を悔いのないようにするために、中学生としての責任と自覚をもち、今何をすべきなのかを考え、勉強に部活動に全力で取り組んでいこうと思います。そしてたくさんの出会いを大切に、お互いを思いやり、絆を強め、3年間で最高の思い出をつくっていききたいと思います。

私たちは桜町小学校で総合的な学習を通して、自ら考え行動することが自分たちの学びになることを実感しました。これからは伝統ある深沢中学校の一員として、それぞれの夢や目標に向かって失敗をおそれず、この学び舎で仲間と共に励まし合い挑戦する、そんな実りある中学校生活が送れるように、精一杯努力することをここに誓います。

最後になりますが、校長先生をはじめ、先生方、そして先輩方、あたたかいご指導をよろしくお願いいたします。

入学式 歓迎の言葉

在校生代表

暖かな日差しが降り注ぎ、桜が萌え出づる季節となりました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

さて、今皆さんはどんな気持ちですか。今日から始まる中学校生活への期待と不安が入り混じっていることでしょう。私も二年前、皆さんと同じように緊張や楽しみを胸に、入学式を迎えたことを今でも覚えています。慣れない生活に始めのうちは戸惑うこともあると思いますが、きっと大丈夫です。皆さんには今日共に入学式を迎えた仲間や、困った時には力になってくれる先輩方がいます。分からないことがあった時には私たち二、三年生を頼ってください。

深沢中学校は「生徒が主役」の学校です。学校行事や生徒会活動などを生徒中心に行うことは、小学校との大きな違いです。体育祭や学芸発表会では、実行委員会を中心にクラスで団結して準備や練習に取り組めます。先生方の力を借りつつも、自分たちでよく考え、互いに意見を交わし、より良い方向へ向かえるように計画や練習に励んでいきます。また、クラスだけでなく、学校全体の団結力があり、深沢中学校を盛り上げていこうという勢いを感じる行事ばかりです。

他にも、一年生では、学年で取り組む二泊三日の河口湖移動教室や校外学習もあります。学年の仲間と協力し合い、自分たちで考えて行動することを通して責任感を身につけ、全員で行事成功を目指す経験からは達成感を得ることができます。また、新しく出会った仲間との絆をより深めることのできる時間です。

委員会や部活動では、他学年との交流が多くあります。私の所属するバスケットボール部では、みんなで同じ目標を掲げ、それに対して学年関係なく切磋琢磨し合える関係性を築いています。他にも生徒会主催の交流会や、一・二年生が共に「なぜ学ぶのか」「なぜ働くのか」を話し合う「ふかカフェ」でも、学年の垣根を超えて、学校全体が明るく温かな雰囲気関わっていけるところが深沢中学校の良さだと思います。

今、ここにいる114名の皆さんはこれからの三年間を共に過ごしていく大切な仲間です。そんな仲間たちと、協力し合い、互いに高め合えるような学年になってください。そして、私たち二・三年生とこれからの深沢中学校を一緒につくっていきましょう。

結びに、新たな一歩を踏み出す皆さんのご活躍をお祈りして、歓迎の言葉と致します。

新入生歓迎会挨拶

新入生代表

本日僕たち新入生を温かく迎えてくださった先輩方、先生方、本当にありがとうございます。

今、僕たちの胸の中は、新しく始まる学校生活への希望で満ちあふれています。中学校では、小学校の頃とは違う新しい教科や、より深い学びが待っています。授業の中でたくさんのことを知り、考え、成長していくことができると思うと、今からわくわくします。友達と一緒に切磋琢磨しながら、勉強だけではなく、部活動や様々な活動にも積極的に取り組み、毎日を充実したものにしていきたくて考えています。

僕には3年生の兄がいます。普段、家では中学校生活のことを聞いており、体育祭や合唱コンクールでクラスが一致団結し、生徒主体でつくりあげる楽しさについて教えてもらいました。僕は特に体育祭に参加できることを楽しみにしています。また、楽しいことだけではなく、小学校にはなかった定期考査もあると聞いており、勉強も一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。

新しい環境に対する不安な気持ちも多少ありますが、僕はこの3年間、新入生の仲間たちと共に支え合いながら成長し、素敵な思い出をたくさんつくりたいと思います。

保存版

世田谷区では、災害時等の対応を以下のように決めています。新年度になりましたので改めてお知らせいたします。

大地震が発生した場合の対応について

大規模地震（区内で震度5弱以上の地震）が発生した場合の対応は、原則として、次のとおりとします。

1 登校前に大規模地震が発生した場合

- ・ 児童・生徒は、学校から連絡があるまでの間、「自宅待機」とします。
- ・ 学校は、区の災害対策本部又は教育委員会からの指示に基づき、「臨時休校」又は「自宅待機の解除」の決定をします。
- ・ 学校は、「臨時休校」又は「自宅待機の解除」の決定をしたときは、電話、学校緊急連絡情報配信サービス「すぐーる」、学校ホームページ等により、その旨を保護者に連絡します。

2 在校中に大規模地震が発生した場合

- ・ 学校は、直ちに教育活動を中断し、児童・生徒の安全確保を徹底するとともに、保護者への引渡し等により帰宅させる準備を行います。
- ・ 学校は、電話、学校緊急連絡情報配信サービス「すぐーる」、学校ホームページ等により、児童・生徒の安否、学校の被害状況、保護者への引渡しを行うこと等を保護者に連絡します。
- ・ 児童・生徒の帰宅方法は、原則として保護者への引渡しによります。
- ・ 保護者の引き取りまでに時間を要するなど帰宅が困難な児童・生徒については、学校において、飲食、防寒等の必要な対応を行います。

3 登校・下校途中に大規模地震が発生した場合

- ・ 通学路等を巡回し、児童・生徒の安全確保にあたり、学校に誘導します。
- ・ 児童・生徒が学校に到着した後の対応は、在校中に準じます。
- ・ 児童・生徒が帰宅していた場合は、安全な状況であるか確認に努めます。

台風接近・通過等に伴う臨時休業等に関するガイドライン

世田谷区（23区西部）に「暴風警報」（「暴風雪警報」を含む）が気象庁より発令された場合、各園・学校は、以下の基準にもとづき、安全対策を講じるものとする。

（1）登園・登校前に発令された場合

- ① 午前6時までに解除された場合・・・平常保育・授業とする。
- ② 午前6時までに解除されない場合・・・全幼稚園、小・中学校を臨時休業日とする。

前日までに台風の接近・通過や大雪等が予想される場合は、園・学校から、対応の内容や留意点等の詳細を連絡することもあります。

なお、園・学校から通知した内容と台風接近・通過の当日の対応に変更がない場合は、改めて各学校から学校緊急連絡情報配信サービス「すぐーる」等での発信はいたしません。

また、区や学校のホームページにアクセスできない場合や学校緊急連絡情報配信サービス「すぐーる」での通知が遅れる場合があるため、気象庁ホームページにて暴風警報（世田谷区）の有無を確認の上、ご判断ください。

（2）登園・登校後に発令された場合

「暴風警報」が発令された時刻やその他の警報等の情報を勘案して、区としての安全対策（「降園・下校時刻の変更」や「一時待機」等）を決定し、各園・学校に周知する。

- ① 幼稚園については、区の安全対策に基づき、「降園時刻前に」または「一時待機」してから、原則として、保護者の引き取りにより、降園させる。
- ② 小・中学校については、区の安全対策に基づき、「下校時刻前に」または「一時待機」してから、原則として、教職員等が付き添って、集団下校させる。

（3）移動教室等宿泊行事や部活動が予定されている場合

移動教室等宿泊行事を予定している場合には、学務課・教育指導課と協議するとともに、現地の状況を踏まえた上で、集合、出発時間、行程、実施内容の変更等、安全対策を講じる。

また、学校が臨時休業とした場合は、部活動も中止とする。